

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年 6月 6日 更新

事務事業名		人材(財)バンク登録事業			<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康		所属部	市長公室	課長名	佐藤 美和
	施策	1	市民参画によるまちづくりの推進		所属課	企画課	担当者名	宮崎 早香
	施策の柱	2	地域づくり(まちづくり)活動機会の確保		所属班	企画広報班	(内線)	1255
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 13	事業連番 11555	根拠法令	合志市人材(財)バンク設置要綱	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 23 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度				

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	自らの経験と知識を生かして市の発展に貢献したいと思っている人材を発掘し、市政への参画の機会を増やすため、人材(財)バンクを設置する。各種委員会等の委員募集の際に担当課から紹介の要望があれば連絡先を伝える。
【業務の流れ】	①様々な経歴や知識を持った人、市政に参画し市の発展に貢献したいと思っている人の人材(財)バンクへの登録募集②登録認定事務③ライブラリで庁内に名簿を公表④各種委員会への参画依頼④3年ごとに更新確認通知
【主な予算費目】	役員費
【意見や要望】	市長マニフェスト項目として取り組みを開始。平成23年12月、合志市人材(財)バンク設置要綱を制定し、講師としての登録を開始。平成24年12月、要綱を改正し市政参画人材の登録を開始。令和5年3月、要綱を改正し、講師としての登録を生涯学習人材バンクに統合。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	人材(財)バンク登録者の募集を行った。また、ホームページ等で登録者の活動内容等を公表し、利用が1件あった。R5年3月に講師としての登録は生涯学習人材バンクへ統合。登録していた25人に通知を送付し、生涯学習人材バンクへの再登録を促した。併せてHPを改訂。令和5年4月に市政参画人材登録者36人に更新確認の通知を送付した。	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)人 ア 人材(財)バンク登録者数	予算の主な増減の理由 イ 市政参画登録者の登録更新確認をするため郵送料の増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	・市民	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)人 ア 人材(財)バンク利用件数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	・市政への参加を促す	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)回 ア 登録者が実際に活動した回数
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
・学習内容が今後活かされると答えた利用者数を指標にすることにより、利用者に知識や能力が身につく、登録者の地域への貢献度が測れると考えた。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	6年度予定	7年度見込	8年度見込	
①	活動指標	人	25	27	76	25	30	30	30	30	
②	対象指標	人	0	0	10	1	10	10	10	10	
③	成果指標	回	0	0	0	0	0	0	0	0	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円								
	人件費	(A)事業費計	千円	0	0	2	2	7	2	2	2
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	1	1	2	3	2	2	2	2
延べ業務時間	(B)人件費計	千円	39	39	318	715	318	318	318	318	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	39	39	320	717	325	320	320	320	

事務事業名	人材（財）バンク登録事業	所属部	市長公室	所属課	企画課
-------	--------------	-----	------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 この制度の市民への周知が不足しているためか、利用件数が少なかった。
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 広報紙・HP・すでに委員をしている方への周知を行ない、市政参画人材の登録を促す。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 利用者は各種委員を募集する担当課職員となるため、委員の不足がなければ目的を達成する。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 講師としての登録を生涯学習人材バンクへ統合した。市政参画人材としての登録制度は他にない。現在各種委員会・審議会委員になっている人へ登録を促すことで登録者の増加が見込める為、担当課への協力依頼が必要。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の役務費のみ。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 経常的な事務にかかる人件費は、削減の余地がない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 対象は、市政に参画し市の発展に貢献したいと思っている人としており、登録に関して費用は発生しない為適正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市政に参画し市の発展に貢献したいと思う市民を活用する事業なので、市の役割は適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

令和4年度は、講師としての新規登録は0名、利用申し込みは1件だった。講師としての登録を生涯学習人材バンクに統合した。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

<p>(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/>現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</p> <p>市政参画人材の名簿更新を行ない、庁内に制度内容や登録者名簿を周知するとともに、現在委員会に所属している人へ登録を促す。広報紙やHPで登録者を募集する。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策</p>																						